



吉原

舞鶴市立吉原小学校
学校だより
10月号
令和5年9月29日



みんな笑顔で、一人一人が主人公！



9月に入っても猛暑が続きましたが、日の入りも早くなり、吉原の入り江にも秋を感じる風が吹くようになりました。ある朝、ふと空を見上げると、校舎近くを多くのツバメが飛びまわっていました。春に日本で生まれたヒナも大きくなり、これからみんな一緒に温

舞鶴港を出航する飛鳥Ⅱ



かい南の国を目指して海を渡っていくのでしょうか。ツバメの全長は17cmほどだそうです。こんな小さな体で、フィリピンやマレー半島・ジャワ島など、距離にしておよそ3千kmから5千kmも移動するというのですから、なんともたくましいことです。これからの長旅に「がんばれ」とエールを贈りた

くなりました。

さて、10月7日（土）開催の運動会に向け、子どもたちの練習にも熱が入ってきました。運動会は、高学年の子どもたちがそれぞれの係に分かれて運営していきます。児童会や色ごとのなかよし班で知恵を出し合い応援練習や全校の練習がスムーズに進むよう準備を進めています。児童会は9月7日（木）に児童集会を開き、運動会のスローガン「**一人一人が笑顔で、協力し合える運動会にしよう**」を発表しました。そのスローガンに沿って、高学年を中心に「元気に力を合わせ笑顔で」活動しています。日々の練習の姿にも「全力で取り組もう」という気持ちがあふれ、各色が力を合わせ、協力して新しいものを創り出そうとしています。特に6年生にとっては、小学校生活最後の運動会です。今年できることを精一杯やり切り、子どもたち一人一人が笑顔で終わることができるよう、私たち大人は力を尽くしたいと思います。

学校行事は、子どもの育ちの場です。取組の過程で、「自分

運動会入場行進の練習



は何ができるか」を一人一人が考え行動に移せたとき、子どもたちはまた一つ成長します。運動会という一つの行事を、一人一人の力で気持ちよく成長させ、みんなで達成感を味わいたいと思います。

保護者の皆様には、子どもたちの学習の成果を運動場で、見て、感じていただき、ご家庭でお話をしていただけると幸いです。また、地域の皆様方も今年度は是非ご来校いただき、直接子どもたちの姿を見て、応援していただけますようお願いいたします。

校長 青木 信次
教職員 一同



運動会表現の全校練習

